

参院選の候補者 自民が来月決定

県連大会で方針確認

自民党山形県連は27日、山形市内で大会を開き、鈴木憲和衆院議員(36)＝山形2区＝の会長再任を承認。来夏の参院選の候補者を来月決める方針を確認した。来夏に任期満了を迎える大沼瑞穂参院議員(39)＝山形選挙区＝は「公認を得て(次期も)働きたい」とあいさつし、立候補へ意欲を

示した。

党員ら約800人が出席し、河野太郎外相が講演した。

終了後記者会見した鈴木会長は、来夏の統一選に向けて「少数派の声にも耳を傾けて支持者の幅を広げ、勝利を目指す」と話した。参院選の候補については、「どう決めるかは県連内で今後話し合う」と述べるにとどまった。